

個（一人ひとり）が かがやく めくもり のある学校

令和7（2025）年12月号

松西っ子 だより

「命を大切にする子 よく考えやりぬく子 みとめあい高めあう子」

松原市立松原西小学校

松原市新堂5丁目57

072-332-0130



学校 HP

更新中

表裏一体

校長 山森 篤

気がつけば12月、師走（しわす）を迎えますが、子どもたちとともにこの2学期をいい形で締めくくることができるよう努めていきたいと思っております。

11月20日（木）に実施しましたフリー参観ならびに河合小学校との合同運動会へのご参加、ありがとうございました。子どもたちの張り切る姿とお互いの学校へのあたたかい声援がとても印象に残りました。

さて、表題を見られて何のことだろうと思われた方も多いかもしれません。

学校は、年齢も、育ってきた生活背景も異なる多くの子どもたちがともに生活する場です。特に本校は、市内でも一番の小規模校であり、自然と上級生と下級生が関わり合う場面が多くあります。年齢に関係なく子どもたちはお互いのことをよく知っているし、登校時に小さい子と手をつないで歩いたり、休み時間に一緒に遊んだりする姿にはほほえましさを感じます。一方で、お互いの距離が近いがためのトラブルも時折見られます。まさに「表裏一体」です。



上級生と下級生、この関わりは学校という小さな社会において豊かな人間関係を育み、子どもたちにとって大きな学びの機会となっていきます。上級生には、時には我慢も必要かもしれませんが、下級生にやさしく接し、困っている様子があればそっと声をかけ、手を貸す姿勢を大切にしたいし、そのようなやさしさを受けた子は、きっと年下の子にやさしくできる力を身に付けていくのだらうと思っています。

また、下級生も上級生に対して礼儀を持って接することが大切です。年上の人に対して、えらそうな言い方や態度をせず、相手に対してふさわしい言葉遣いや態度を学ぶことは、学校生活だけでなく、社会に出てからも大切な力として生きていきます。

来年度、河合小学校との統合した後も子どもたちには経験的にこういった力を身に付けてほしいと心から願っております。ご家庭においても一度話題にしていただけたらと思っています。

子どもたちの笑顔あふれる学校となりますよう保護者の皆様のご支援・ご協力お願いいたします。

12月の予定

12/1	月	5年非行防止教室3h ストープ使用開始
2	火	全学年13:20下校（就学時健診のため）朝会（6年修学旅行報告会） 3h:6年たんぼ交流会
3	水	児童委員会 1年読み聞かせ
4	木	B時程 全学年15:15下校（教職員研修のため）5.6年英語
5	金	縦割り遠足（大泉緑地）
6	土	あそぼう会（地域交流祭り）
7	日	
8	月	5年出前授業③（生野高校）
9	火	1.2年群読朝会 3h:大縄大会 2.3年手話エンターテイメント発信団oioi聞き取り（河合小）
10	水	
11	木	3年給食センター見学（河合小と合同）
12	金	縦割り遠足予備日 放課後学習
13	土	
14	日	
15	月	B時程 1.2年14:20、3～6年15:15下校 スクールカウンセラー（SC）来校
16	火	
17	水	個人懇談①13:30下校
18	木	個人懇談②13:30下校
19	金	個人懇談③13:30下校
20	土	
21	日	
22	月	給食最終日13:30下校
23	火	大掃除 12:00下校
24	水	終業式11:00下校
25	木	冬季休業（1月7日まで）※ 3学期始業式 令和8年1月8日



【感染症について】

今年はインフルエンザの流行が例年より早いようで、市内においても学年・学級閉鎖を実施する学校が出ています。本校でもり患する子が少し増えており、感染防止に向けて、手洗い・うがい、必要に応じてマスクの着用をよろしくお願いいたします。

【個人懇談会】

12月17日（水）～19日（金）まで2学期の個人懇談会を実施します。お忙しい中だと存じますが、よろしくお願いいたします。

→裏面もご覧ください。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

1. 国語・算数・理科の調査結果について

本年4月に6年生を対象に全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科・児童質問紙）が実施されました。この調査結果は子どもたちが身につけるべき学力の一部であり、これにより子どもたちのすべてを評価するものではありませんが、保護者のみなさまと、学力や生活面での成果と課題を共有し、連携・協力して取り組むため、結果の概要をお知らせします。

本校の結果は、国や府と比較して身につけるべき学力をおおむね身につけているという良好な結果でした。教科別に見ますと、

【国語】

- ① 成果の見られた領域・区分
○言葉の特徴や使い方に関する事項 ○我が国の言語文化に関する事項
- ② 課題の見られた領域・区分
○情報の扱いに関する事項

【算数】

- ① 成果の見られる領域・区分
○「数と計算」領域 ○「測定」領域
- ② 課題の見られた領域・区分
○「図形」領域

【理科】

- ① 成果の見られる領域・区分
○「生命」領域 ○「測定」領域
- ② 課題の見られた領域・区分
○「図形」領域

教科の結果もさることながら、全体を通して「無答率」（回答を書かない率）が低く、このことは学習に対してあきらめず、最後まで粘り強く学ぼうとする姿勢が見て取れました。

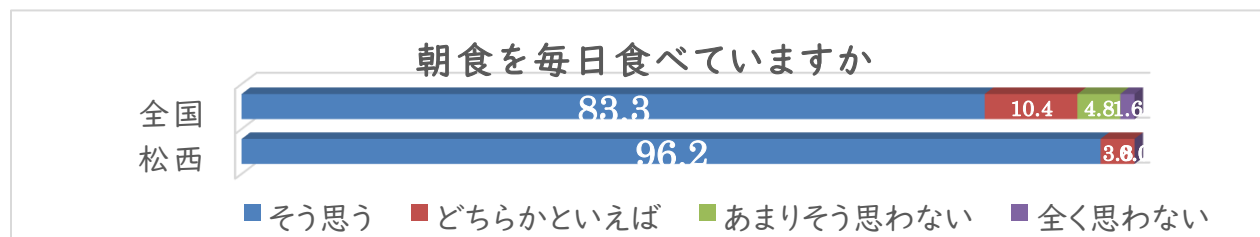
今年度の本校の校内研究では、「『書く力』を伸ばす授業づくり」として、

- ・目的意識・相手意識をもって書けるような課題設定。
- ・誰もが書けるようにするための手立て・文章の読み取りを研究。
- ・考えを伝え合う場面の設定

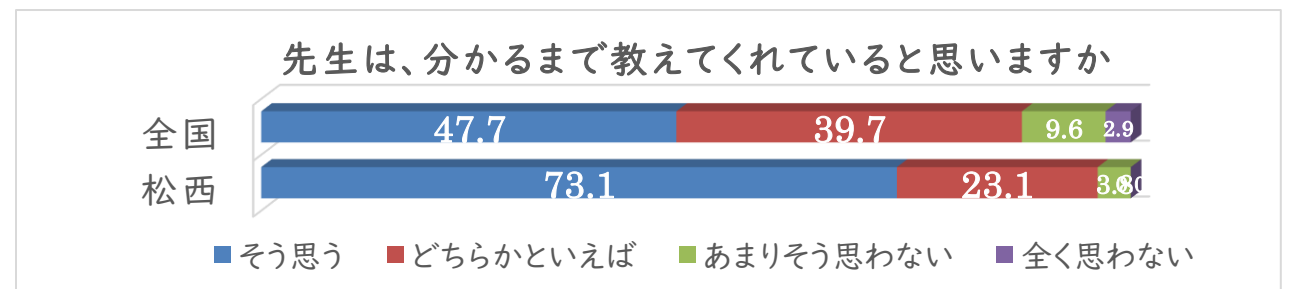
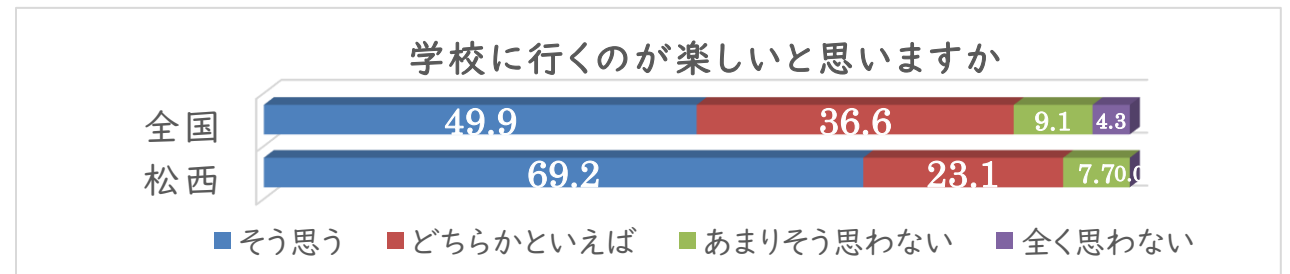
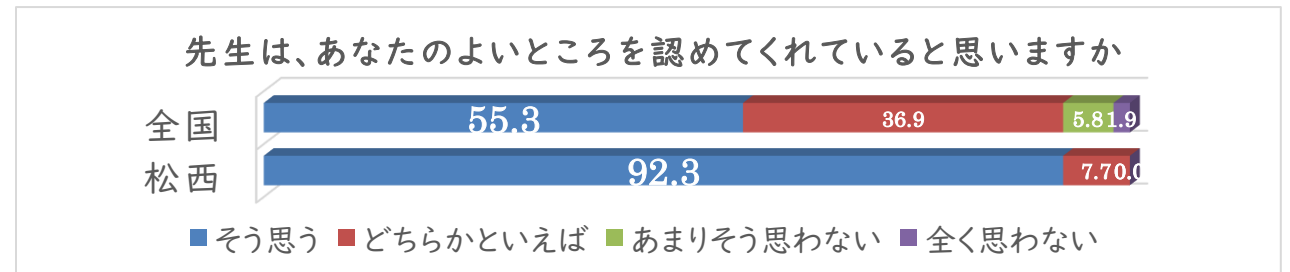
をテーマに継続して研究に取り組んできましたが、上記の結果をもとに今後も授業改善をはかり、ひきつづき、子どもたちの学力向上に努めてまいります。

2. 児童質問紙調査について

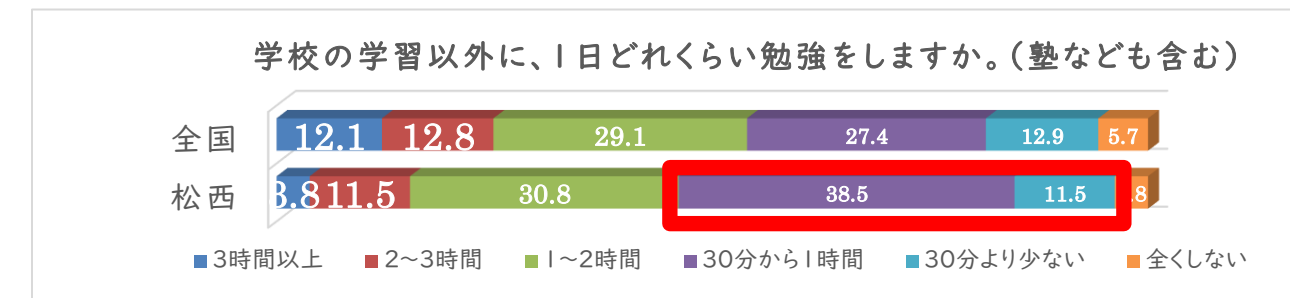
学力向上のためには、授業だけでなく、「生活習慣」・「自己肯定感」・「家庭学習」なども大切だと言われています。



朝食を毎日食べている児童が多く、習慣が身についていると思われます。



学校の教員との良好な関係が見て取れます。



家庭での学習時間が1時間未満の児童が50%となっていることがわかります。学校だより6月号でも書きましたが、「身についた習慣は一生もの」であり、「年齢が上がるにつれ、『やらなければいけない学習』から『自分で取り組む学習』への移行が大切」だと言われています。

そのため、(1)「生活リズムを整える」、(2)学ぶ雰囲気をつくる、(3)努力を認め、励ますことなど、できることを毎日続けていくことが必要です。

学校では学期に2回程度、「家庭学習週間」として家での学習時間を自分で確認し、振り返ることを行っており、こういった機会も利用していただき、子どもたちが「一生ものの宝」を身につけていってほしいと考えております。

これからも家庭と学校が力を合わせて子どもたちの学力を高めていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。